

◆ 会員紹介 7

特定非営利活動法人 全国街道交流会議

全国街道交流会議は、街道を基盤にしたまちづくりや交流・連携に取り組む民間団体等が、街道 400 周年、日蘭交流 400 周年を契機に相互に呼びかけあい 2002 年に発足した特定非営利活動法人です。

全国の歴史都市からなる自治体会員の他、企業や団体、個人などが会員として活動に参画しており、地域の歴史・文化や町並景観等の再生、さらにそれらの活用による観光地域づくりなどに各地で取り組んでいます。

●全国大会の開催

街道に代表される資源を発掘・活用し、また資源を街道で広域につなぐことにより地域の活力を創出する等々の目的で 2002 年から全国大会を開催しています。

全国大会は現在開催準備を進めている福井県小浜市の「若狭路大会」で 10 回目を迎えます。大会を企画・運営する実行委員会には、国、県、市区町村をはじめ、商工会議所などの地元経済界等が分野や職域、圏域を超えて参加することで、従来の枠組みを越えた新たな活性化の仕組みづくりにつながっています。



東海北陸自動車により生まれる広域交流圏について議論した「高岡大会」



街道と地域再生をテーマに取り組んだ「鳥取大会」



『歴史防災』、『街道観光』を提言した「浜松大会」



『街道観光』の具体化を議論した「萩往還・山口大会」

●特別委員会「街道交流首長会」

2006 年に開催した第 5 回全国大会「飛騨高山大会」で、高山市土野市長（当時）ら有志首長により呼びかけがなされ、特別委員会である「街道交流首長会」の活動がスタートしました。

「街道交流首長会」には、現在 69 名の市区町村長が参加しており、全国街道交流会議と共に独自の歴史・文化を活かしたまちづくり・みちづくり、街道を通じた地域間交流などに取り組んでいます。



観光庁長官、道路局長を招いての首長勉強会の開催



街道、国道起点での日本橋「日本百街道」展の開催

●社会実験等を活用した地域再生

全国街道交流会議には様々な課題や将来像を持った69の自治体会員が参加しています。国土交通省の社会実験等々を活用して、街道から“新たな街道”高速道路までを一体的に活かすことで沿道地域の再生に取り組んでいます。



町並に回遊性をもたらした「飛騨高山『古い町並』とおりゃんせプロジェクト」社会実験



高速道路上の案内標識の改正につながった「鳥取自動車道地域交流社会実験」



街道の維持管理システムの構築を目指した「道路を活用した『歴史の道・萩往還』トレイル化社会実験」



宿場町のコミュニティビジネスのための「『萩往還』宿場名物研究開発プロジェクト」

●「街道観光推進会議」、「全国街道資料ネットワーク」

第8回全国大会「浜松大会」で提言、第9回全国大会「萩往還・山口大会」で発足宣言を行った「街道観光推進会議」は、日本商工会議所、日本観光振興協会と全国街道交流会議で事務局を担当し、関係省庁のオブザーバー参加を得て、平成25年度から活動を展開しています。

また、『街道観光』の推進にあたり、街道関係資料の発掘、資（史）料情報の共有と連携活用が必要になるとの思いから、郵政博物館（旧逓信総合博物館）をパートナーに、全国の有志博物館・史料館による「全国街道資料ネットワーク」を発足いたしました。

全国街道交流会議は、“街道（みち）の数だけ日本がある”をテーマに、これからも、みちおこし、まちおこし、そしてくにおこしに邁進してまいります。

【理事等】

会長：森地 茂
代表理事：藤本 貴也
専務理事：古賀 方子

特定非営利活動法人全国街道交流会議

〒814-0015 福岡県福岡市早良区室見1-10-12-601

e-mail: info@kaido-kaigi.com <http://www.kaido-kaigi.com>